三郷市公立保育所　食育計画　0歳児

【健】…食と健康　【人】…食と人間関係　【文】…食と文化　【命】命の育ちと食　【料】…料理と食

	0歳
年間目標	【健】食べ物に興味を持ち、好き嫌いなく、しっかり噛んで完食できるようになる。 【人】安定した人間関係の中、楽しく食事ができる。 【文】食事の前後には挨拶があるということを知る。 【命】お腹が空き、進んで離乳食を喜んで食べる。 【料】いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して自分で進んで食べようとする。

アレルギー対応
●個々のアレルギーの状況を指示書をもとに把握し、代替食を提供する。 ●家庭と連携をし、徐々に食べられる食品があれば解除をしていき、普通食へ移行できるよう援助していく。 ●アレルギーの心配のある子には、家庭で初めて口にする食材のときは、1品ずつ様子をよく見て進めるよう声掛けをしていく。

	1期（4～5月）	2期（6～8月）	3期（9～12月）	4期（1～3月）
■ねらい ★内容	■安定した人間関係の中で心地よい生活を味わう。 ■きちんと咀嚼が行えるようになる。 ■食べ物に興味をもち、楽しみながら食事をする。 ★ゆったりとした雰囲気の中で食べさせてくれる人に関心をもつ。 ★口をしっかりとうごかし、咀嚼が行えるようにする。 ★よく遊び、よく眠り、進んで離乳食を食べる。	■いろいろな食べ物を見る、触る、噛んで味わうなどの経験を通して自分で進んで食べようとする。 ■よく噛んでから飲みこんでいけるようにする。 ■食事の前後には挨拶があるということを知る。 ★いろいろな食べ物に関心をもち、自分で進んで食べ物を持って食べようとする。 ★そのまま飲み込むことなく、よく噛んでから飲みこむ。 ★食事の前後の挨拶を知り、保育士等や友達と一緒に行う。	■なんでもバランスよく食べ、体を十分に動かす。 ■食後に口の周りや手を自分で拭き、清潔にしようとする。 ■手づかみや、スプーンで食べ、離乳食からの移行を進める。 ★よく食べてよく運動をし、色々なことに興味を持ち活動をする。 ★口の周りや手をタオルで拭き、清潔にすることが快いということを感じる。 ★手づかみや、スプーンを使って食べ、しっかりと噛んで完食できる。	■スプーンを使い、進んで食べる。 ■横を向いて食べたり、立ち歩いたりせず、進んで食事をしようとする。 ■保育者や友だちとの食事を通して愛情や信頼をもつ。 ★スプーンを使い、最後まで自分で食べようとする意欲をもつ。 ★横を向いたり、立ち歩いたりすることなく、落ち着いて自分で食べようとする。 ★保育者や友だちとの安定した人間関係の中、楽しく食事をする。
■環境構成 ★援助	■ゆったりとくつろげる環境を整え、抱っこや触れ合い遊びを通して、お腹が空くようになる。 ★咀嚼が出来るように「もぐもぐ、ごっくん」と声掛けをする。 ★食欲と人間関係が密接にあることを踏まえ、子どもの人への信頼、愛情の基盤となるよう、愛情豊かな特定の大人との継続的で応答的な授乳及び食事での関わりに配慮する。 ★保育者・給食員が連携し、咀嚼や嚥下機能の発達状態を適切に把握し、家庭でもバランスよい食事を与えられるよう協力を求める。	■自分でしようとする気持ちを大切にし、好き嫌いせず様々な味に親しみをもてるように食材の種類や調理法にも配慮する。 ■椅子と机の間を詰めすぎず、姿勢が安定し、正しい姿勢で座って食事ができるように促す。 ★子どもの食べる意欲を損なわないよう、一人一人の状態に応じて清潔に保っていけるようにする。 ★挨拶をして食べられるよう、一緒に行い援助する。	■様々な食材を食べられるよう、献立を工夫し、旬の食材や果物を多く取り入れ、食欲を促す。 ★好き嫌いなく食べ、丈夫な体をつくることができように配慮し、自信が付くよう援助する。 ★口拭きで、食べ終わったら拭くことを伝え、自ら進んで拭いていけるように声掛けをし、清潔を保つ。 ★食べやすいように配膳し、個々に合わせて援助しながら、食べようとする気持ちを大切にする。	■正しい姿勢で座り、食への関心を深め、楽しい雰囲気の中で食事をする。　★手づかみもするが、スプーンを持って一人で何でも喜んで食べることができるよう援助し、声掛けをしていく。 ★子どもが食べ物に興味をもって自ら意欲的に食べようとする姿を受け止め、自立心の芽生えを尊重する。
■ねらい ★内容				
■環境構成 ★援助				
自己評価				